

## 富山駅周辺整備の基本方向（素案）

- 1．駅周辺地区整備の方向性…………… P 1
- 2．駅及び駅前広場整備のコンセプト…………… P 2
- 3．駅及び駅前広場整備の基本方向…………… P 3

平成16年1月16日

富 山 市

# 1. 駅周辺地区整備の方向性

## 現状の課題

### 富山市が直面する都市課題

1. 市全体の人口が減少し、全国でも有数の高齢者の多い都市となる
2. まちなかの人口が減少し、都心の空洞化が一層顕著な都市となる
3. 自動車分担率が80%近くに達する著しく自動車に依存した都市となる
4. 公共交通の衰退が顕在化し、高齢者や通学者などが不便な都市となる
5. まちなかの回遊性と賑わいが乏しい都市となる
6. 北口の都市開発や道路網などの豊かなストックを活かせなくなる
7. 広域都市圏の都市間競争が顕在化している中で富山らしさを発信できない都市となる

### 富山市の都市再生課題

1. 都心部の人口増加、諸施設などの集積  
都心部の人口減少や空洞化に歯止めをかけ、公共・民間施設の集積によるサービス提供が課題。
2. 北陸新幹線開業を契機とした活性化  
新幹線の建設は、開通による話題性や来街者増加も期待される反面、東京方面へのストロー効果が懸念される。
3. 交通結節点整備からの都心再構築  
連立事業に合わせた交通結節点の総合的な整備が、中心市街地の活性化と密接に連動するための諸施策が課題。
4. 官民協力によるまちづくり計画の実践  
官民の協力体制によるまちづくり計画の実践は、十分な準備時間と持続的な行動が課題。
5. 社会資本整備の継続的実施に対する市民認識  
一連のまちづくり計画に合わせた社会資本整備の継続的な実施に対する市民認識が課題。

## まちづくりのシナリオと駅周辺地区の役割

### <市街地全体>

都市間競争力の低下  
人口/産業の伸び低迷

低密度な市街地の拡大

車依存の都市交通

### <都心地区>

都心部の  
人口減少・高齢化

都心土地利用の空洞化

公共交通の利用減少  
都心道路網の整備必要性

### <駅周辺地区>

地域社会の分断

南北・土地価格の格差  
南北機能配置のアンバランス

交通渋滞 人・自転車等  
駅周辺交通の回遊性向上

周辺土地利用の  
分断

玄関口としての  
魅力低下

交通結節性の  
低下

魅力ある交通結節点の整備  
富山駅周辺地区での  
駅南北の一体的まちづくり

(都市拠点機能)  
駅周辺土地利用の一体的活用

(交通結節機能)  
交通拠点としての体系的整備

### <都心地区>

都心居住の推進

中心市街地の活性化

道路ネットワークの整備

歩行者、自転車利用者の  
環境整備

公共交通の活性化

### <市街地全体>

魅力ある都心地区/市街地の  
形成

コンパクトシティの実現

車中心の社会から公共交通、  
徒歩、自転車を中心とした  
交通体系へ

## 駅周辺地区整備の目標

### 富山の玄関口としての魅力と 活気に満ちた拠点形成

- ・ 駅南北地区の一体化による、空間的一体化、機能的一体化、心理的一体化を図る。
- ・ 周辺遊休地の活用、高架下空間の活用による魅力ある商業・業務機能の形成を図る。
- ・ ゆとりある公共空間を確保し、植栽や水辺空間等により、富山の豊かな自然を演出する。
- ・ 立山の眺望、建築物、広告の取り扱いを工夫し、美しい都市景観を形成する。
- ・ 玄関口にふさわしい観光拠点、賑わい拠点を形成する。

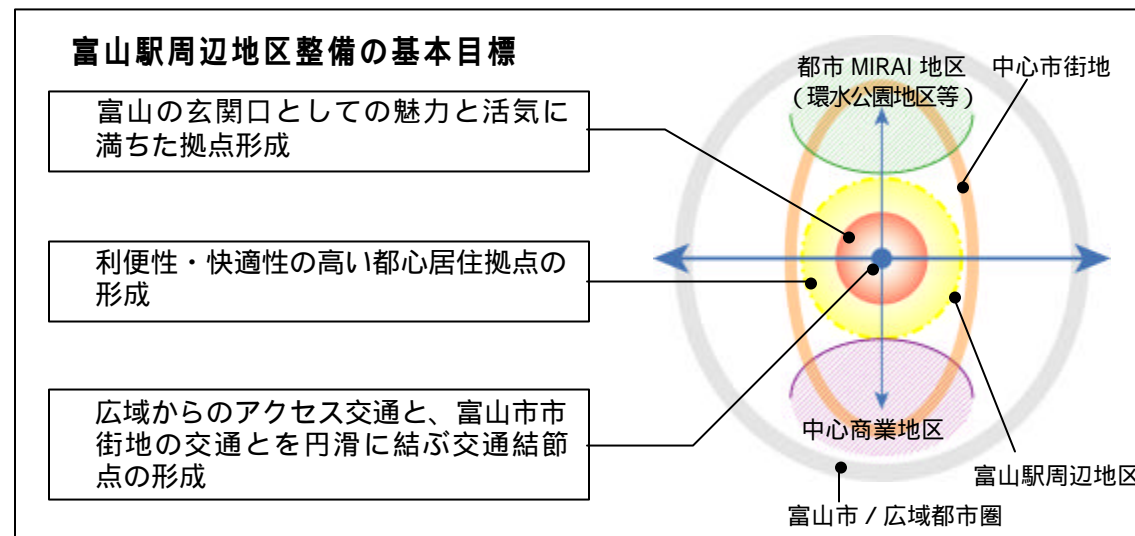
### 利便性・快適性の高い 都心居住拠点の形成

- ・ 都市型住宅の導入を促進する。
- ・ 日常品の販売、医療・福祉等の公共的サービスの充実による生活環境の改善を図る。
- ・ 駅周辺の歩行者・自転車のネットワークを形成する。
- ・ ゆとりある公共空間の整備を図る。

### 広域からのアクセス交通と、富山市市街地の交通とを円滑に結ぶ 交通結節点の形成

- ・ 路面電車を富山駅で駅南北貫通させ、新幹線、北陸線との乗換えが便利な南北都市鉄軌道軸の形成を図る。
- ・ バス・タクシー利用の利便性を向上する。
- ・ 徒歩、自転車のネットワークを確保する。
- ・ 自動車利用者にも利用しやすい富山駅にする。

## 2. 駅及び駅前広場整備のコンセプト



基本的な考え方：〈えき〉と〈まち〉の再構築に向けた基本理念

### 1. 『21世紀の駅・駅前広場整備を先導する』

富山市中心市街地の都市基盤整備のきっかけとなった神通川馳越線工事の完成から100年。また、都心部の大規模遊休地を活用した新たな都市拠点整備事業である駅北都市みらい事業から20年。

富山市は、我が国の近代的都市基盤整備の先駆的な役割を担ってきた。

本プロジェクトは、従来（20世紀）の駅及び駅前広場整備の成果と反省を踏まえ、21世紀の新たな社会的要請に応える駅、駅前広場整備を先導するものとする。

### 2. 『駅』の再認識 / 人・文化・情報の交流拠点へ

従来の駅、駅前広場は鉄道と他の交通手段（主に自動車）との乗換えのための交通拠点であった。

これからの駅、駅前広場は、コンパクトな都市を支える公共交通ネットワークの拠点として生まれ変わるとともに、北陸新幹線整備を生かし、富山の玄関口として、地域の拠点として、人の交流、文化の交流、情報の交流が発生する拠点とする。

### 3. 『コンパクトなまちづくりの中心として整備する』

駅前広場と高架下空間、駅広に面する宅地との一体的整備を行い、新たな機能導入を積極的に推進し、駅周辺の魅力を高め、さらに、地域間の連携を強化することにより、既存中心市街地の活性化につながることを意識する。

## 整備コンセプト

### 整備の基本テーマ：『次の100年に受け継げる駅フロント整備』（仮称）

〈えき〉と〈まち〉の再構築を先導する駅及び駅前広場の整備

〈基本テーマの柱となる3つのコンセプト〉

#### コンセプト1：「使いやすさ」にあふれた〈えき〉づくり（交通結節）

鉄道、路面電車、バス、タクシー及び一般車などを使って富山駅を訪れ、乗換える人々が雨天や雪の季節でも便利に使える駅。

歩行者も自転車利用者もアクセスしやすく、バリアフリーで使いやすい駅。

また交通利便性だけでなく、待ち合わせの場所として使ったり、鉄道の待ち時間を楽しく過ごせるような「使いやすさ」にあふれた〈えき〉づくりを目指す。

#### コンセプト2：「賑わい」のある〈まち〉づくり（都市拠点）

駅南北のまちが結びつき、既存の駅北の文化施設や駅南の商業・サービス施設と、高架下や新たな駅隣接商業施設、交流施設が一体となり、昼や夜、平日・休日を問わず「賑わい」を創出するまち。

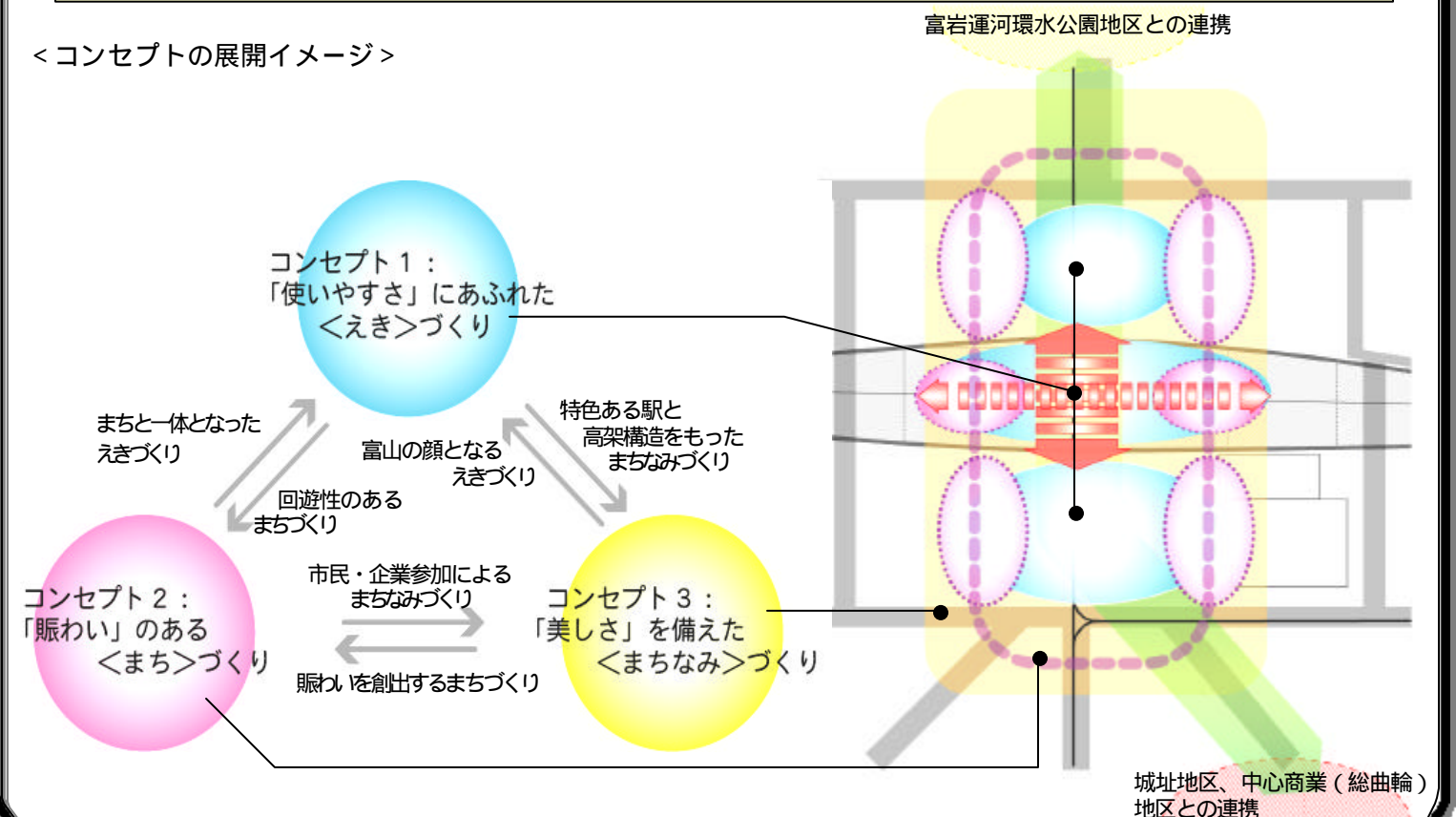
さらに、安全で便利な都市居住の場として人口も増え、高齢者や若い世代が行き交うような「賑わい」のある〈まち〉づくりを目指す。

#### コンセプト3：「美しさ」を備えた〈まちなみ〉づくり（都市空間）

シンボルロードとブルパールが高架下で結ばれてできる、新しい都市軸を中心に、公共、民間のまちづくりの主体が協働してつくる富山らしさのあるまちなみ。

駅前のオープンスペースを中心に、立山や南北市街地への眺望を確保し、周辺の建物の高さや壁面などをルール化し、緑や水を生かした公共空間を整備することにより「美しさ」を備えた〈まちなみ〉を目指す。

〈コンセプトの展開イメージ〉



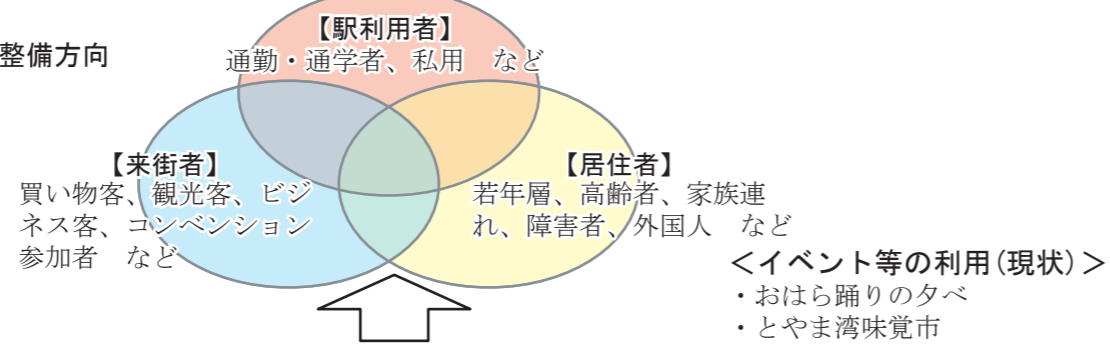


### 3. 駅及び駅前広場整備の基本方向

#### コンセプトの具体化に向けた検討要素の整理

##### <まちの利用者>

- 利用者の立場に立った整備方向



##### (主要な検討要素)

**<えきづくり>**

**【駅舎】**  
駅プラットフォーム、昇降施設、ラッチ、駅務施設、集改札口、出札口、待合い施設 など

**【通路】**  
ラッチ外コンコース、自由通路、案内サイン、休憩施設 など

**【駅前広場】**  
バスターミナル、タクシー乗降場、タクシープール、一般乗降場、短時間駐車場、駐輪場、駐車場

##### <まちづくり>

**【民間施設】**  
商業施設、業務施設、飲食施設、娯楽施設、文化施設、情報施設、観光・物産施設 など

**【公共施設】**  
行政施設、福祉・医療施設、文化・情報施設、教育施設、産業関連施設 など

**【都市施設】**  
都市公園・広場、ポケットパーク、イベント広場、公開空地、街路 など

**【その他】**  
半公共空間

\*ハード整備とともに、ソフトな運用方策も

##### <まちなみづくり>

**【眺望点】**  
立山、富山湾、神通川、呉羽丘陵等への眺望

**【都心景観】**  
既存周辺建築物の景観、新規周辺建築物の景観  
シンボルロード、プールパールの眺望

**(玄関口としての景観形成)**

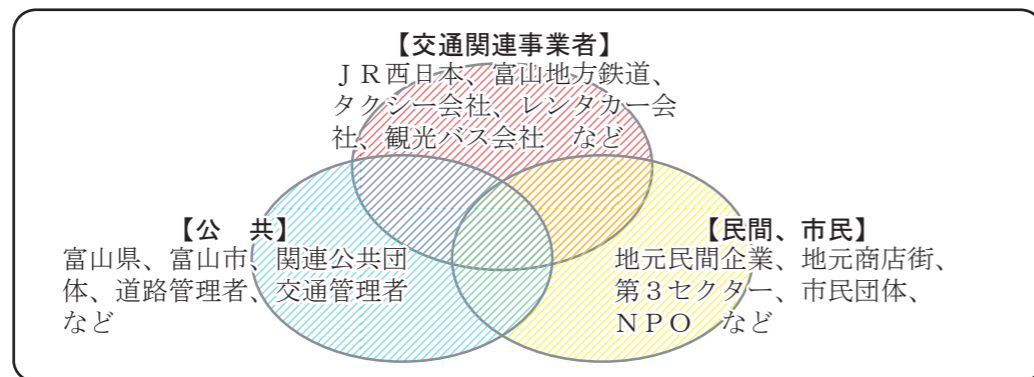
**【駅前空間】**  
自由通路からの景観、駅プラットフォームからの景観、駅前広場の景観、イベント開催時等の景観

**【高架構造物、駅舎】**  
駅舎の景観、デザイン、高架構造物の景観、高架下空間の景観

\*夜景、季節ごとの景観など

##### <まちづくりの主体>

- 公民の協働による整備の実現



#### コンセプト1: 「使いやすさ」にあふれた<えき>づくり

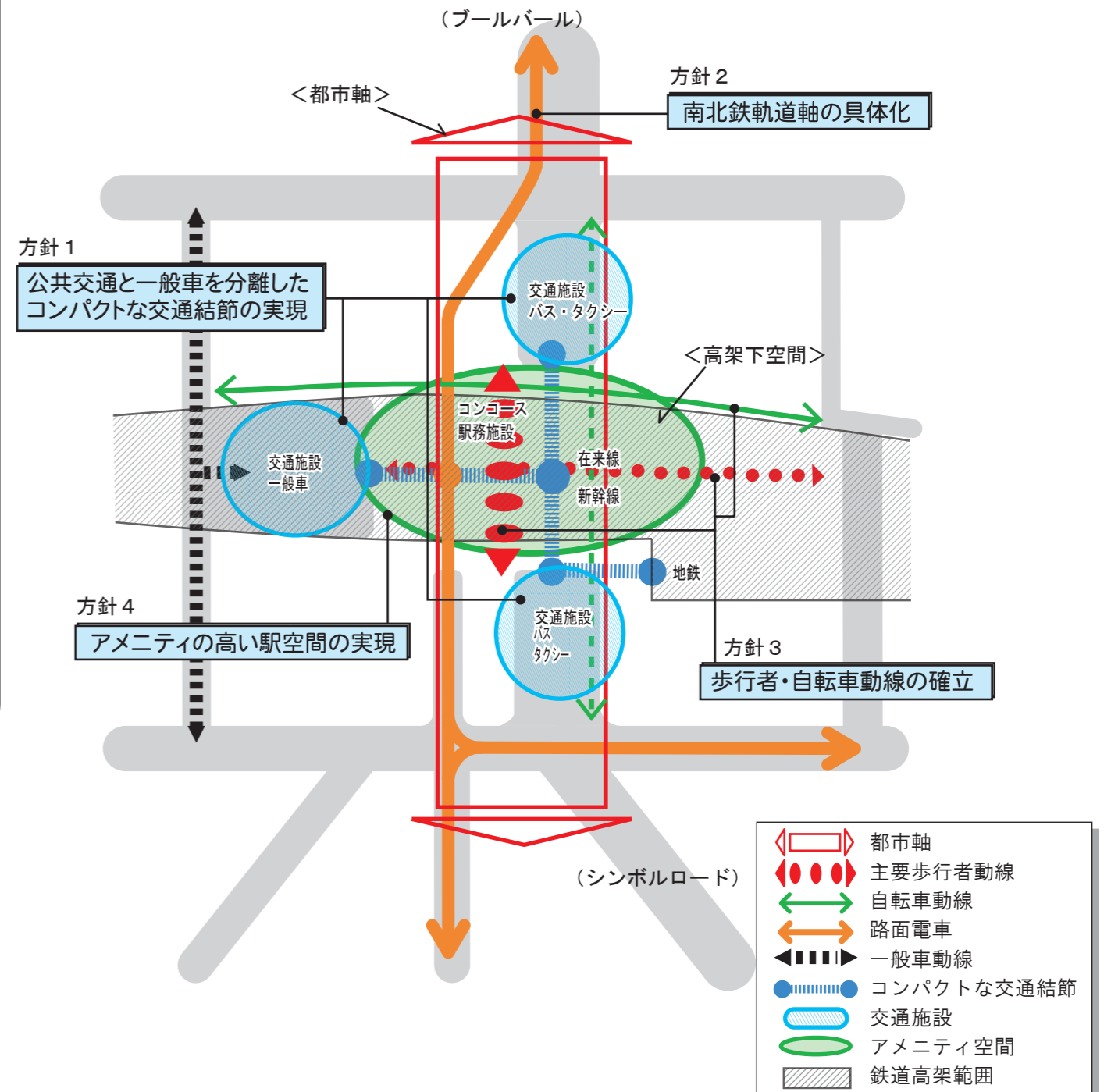
鉄道、路面電車、バス、タクシー及び一般車などを使って富山駅を訪れ、乗換える人々が雨天や雪の季節でも便利に使える駅。

歩行者も自転車利用者もアクセスしやすく、バリアフリーで使いやすい駅。

また交通利便性だけでなく、待ち合わせの場所として使ったり、鉄道の待ち時間を楽しく過ごせるような「使いやすさ」にあふれた<えき>づくりを目指す。

##### <コンセプト1の展開イメージ>

南北の自由通路を中心とした都市軸と、東西の高架下空間を活用し、「使いやすさ」にあふれた<えき>づくりを実現する。





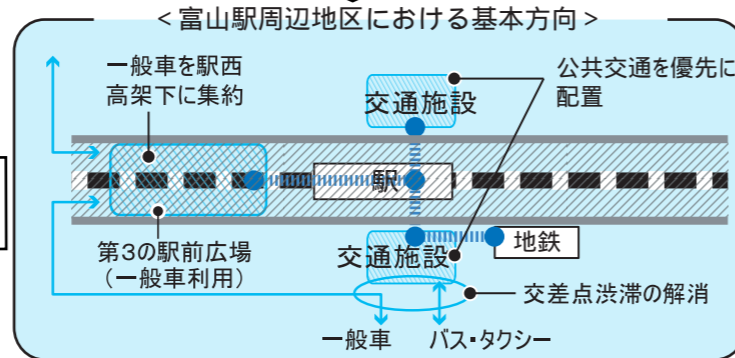
方針1. 公共交通と一般車を分離したコンパクトな交通結節の実現

<整備の問題点>  
 これまでの駅前広場整備では、交通施設が大規模となり、タクシーや一般車が駅前を占有し、バス等と混在する例が多い。また、出入りする交通量の負荷が駅前交差点にかかり、歩行者流動の妨げになりやすい。

大規模な交通施設  
 交通施設  
 混在する交通  
 バス・タクシー・一般車  
 仙台駅

<方針>  
 駅南北に配置する交通施設は公共交通のみに限定し、玄関口にふさわしく魅力と話題性に富んだ広場空間を形成

<期待される効果>  
 駅南北の交通施設のコンパクト化による十分な歩行空間や広場等の確保  
 公共交通と一般車の利用分離による安全性向上  
 駅南口交差点の交通負荷軽減



<整備イメージ>  
 ・南北の駅前広場から自家用車を除き、交通機能対応の面積を小さくして広場機能を強化(公共交通のプール機能は極力少なくする)( )  
 ・高架下空間を活用したK&R、P&R対応の交通広場やタクシープールを整備し、雪、雨時も快適に利用できる短時間駐車スペースを十分に確保( )



\*高架下に近いイメージとして、ペデの下に設置された交通広場を示す



\*広場機能を広く取っているが、プール機能も確保しているため全体として大規模な施設となっている。



\*最近では、高架下空間を交通広場として使う計画も実現しつつある

方針2. 南北鉄軌道軸の具体化

<整備の問題点>  
 鉄道が路面電車の電停や一部のバス停と離れ、乗換えに不便な場合が多い。また、電停が幹線道路の中央にあって危険であり、降雨、降雪時の利用がしにくい。

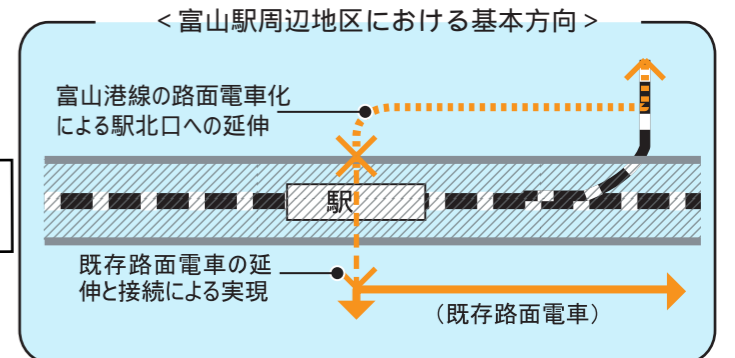
長い乗換え距離  
 電停  
 駅

<富山の現状>  

 マリエ前路面電車電停

<方針>  
 富山港線の路面電車化と富山駅北口への延伸に加え、将来は高架下の自由通路を貫通し、南側の路面電車に接続させる。

<期待される効果>  
 路面電車の乗換え利便性の向上  
 電停の安全性、快適性の向上  
 路面電車ネットワークの拡大による利用増加と、コンパクトシティ実現への寄与



<整備イメージ>  
 ・路面電車は、自由通路を貫通。鉄道との乗換えを円滑化( )  
 ・駅前広場への乗入れにより利便性の向上を図る事例が増えている( )

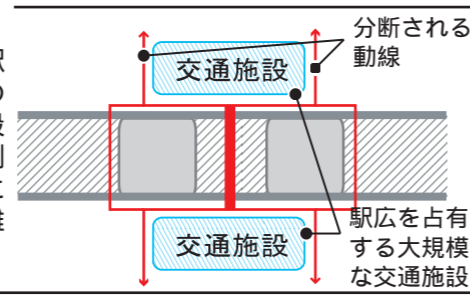




### 方針3 歩行者・自転車動線の確立

#### <整備の問題点>

高架下の自由通路と駅前広場を結ぶ歩行者等の動線が、駅広の交通施設等によって制限される例が多い。また、ペデ等による立体的な動線の分離を図るケースも多い。



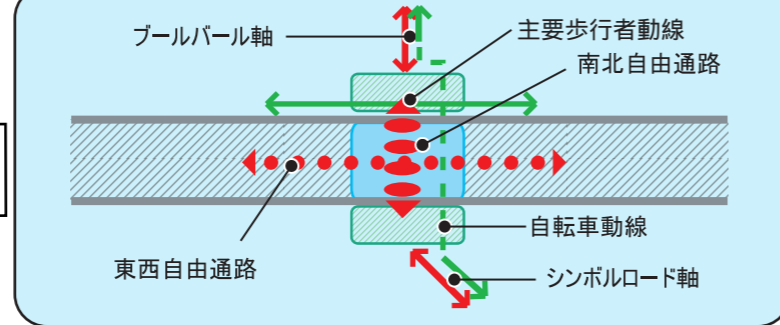
#### <方針>

高架下の南北自由通路と東西自由通路を中心に歩行者の動線を確保するとともに、自転車による南北、東西からのアクセスへの対応を図っていく。

#### <期待される効果>

通勤・通学時等の駅へのアクセス性の向上  
駅周辺での施設利用の利便性と回遊性の向上  
バリアフリー環境の改善

#### <富山駅周辺地区における基本方向>



#### <整備イメージ>

- 歩行者のための自由通路を高架下に南北軸、東西軸として確保（ ）
- 南北の駅前広場、自由通路が一体となった空間形成により、南北地区の一体化を促進（ ）



幅広い自由通路(静岡駅)



自然光の入る自由通路(上野駅)



東西自由通路「うみねこロード」(八戸駅)

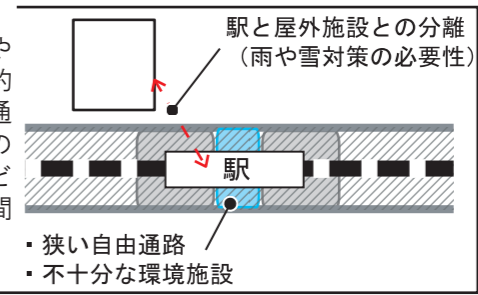


駅前広場と一体となった自由通路イメージ  
(常磐新線高架下駅での提案イメージ)

### 方針4 アメニティの高い駅空間の実現

#### <整備の問題点>

高架下を活用した駅や自由通路は、採光が制約され、また、駅前の交通施設や周辺商業施設との接続も不十分となるなどアメニティの低い駅空間となっている例が多い。



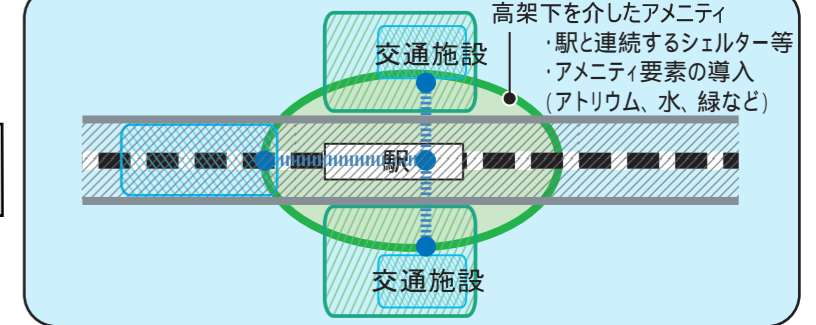
#### <方針>

高架下の自由通路等の公共空間を使いやすく、アメニティの高い空間として整備するとともに、交通施設や隣接建物とを結ぶシェルターなどの工夫を重視し、整備する。

#### <期待される効果>

降雨、降雪時の公共交通利用や、店舗等の利用の快適性向上  
滞留拠点としての駅空間の魅力向上

#### <富山駅周辺地区における基本方向>



#### <整備イメージ>

- 駅広に面する宅地には商業機能を導入し、賑わいと魅力を強化。1階部分に公共的空間を駅広と一体的に計画し、雁木方式などで雨雪対応し、退屈しないで歩行できる空間を提供（ ）
- 高架下や駅前の公共空間におけるアメニティ環境の実現（ ）



駅と連続したシェルター(伊丹駅)



ひさしのついたパサージュ空間(福岡エルガラ)



雁木方式の空間(静岡)



アトチャ駅(マドリッド スペイン)



自由通路内に配置された緑や水の空間  
(名古屋駅JRタワー内)



## コンセプト2：「賑わい」のある<まち>づくり

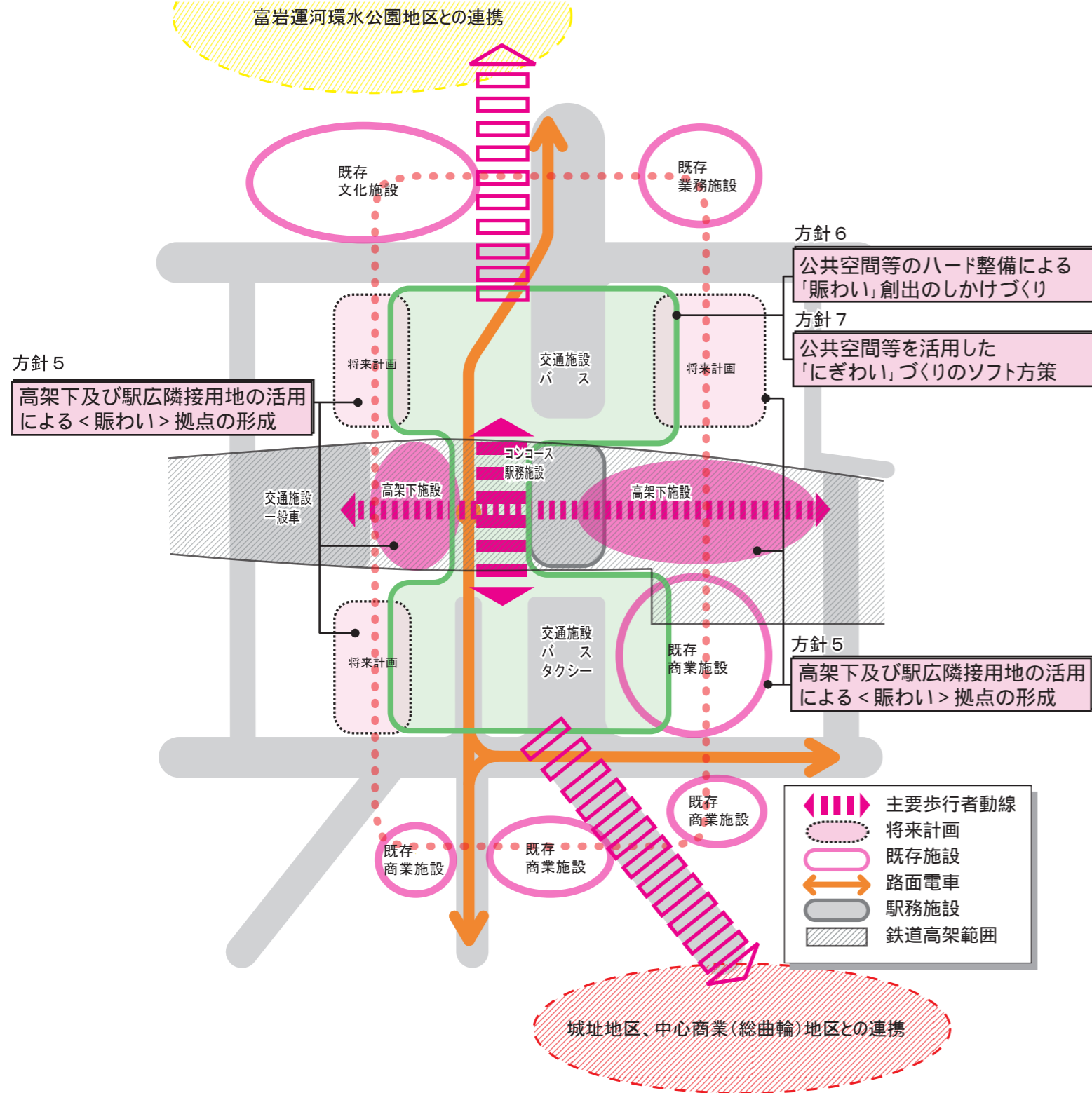
駅南北のまちが結びつき既存の駅北の文化施設や駅南の商業・サービス施設と、高架下や新たな駅隣接商業施設、交流施設が一体となり、昼や夜、平日・休日を問わず「賑わい」を創出するまち。

さらに、安全で便利な都市居住の場として人口も増え、高齢者や若い世代が行き交うような「賑わい」のある<まち>づくりを目指す。

### <コンセプト2の展開イメージ>

高架下空間や、駅広に隣接する既存空閑地を活用し、既存施設と合わせ、賑わいの拠点としての機能拡充を図る。また、隣接する広場などの公共空間にハード、ソフト両面での工夫をし、民地との連携により賑わいを創出していく。

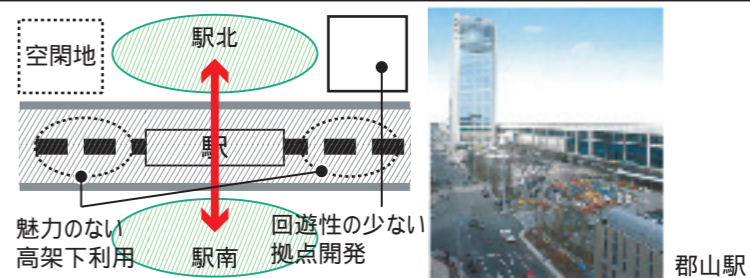
富岩運河環水公園地区との連携



## 方針5：高架下、及び駅広隣接用地の活用による<賑わい>拠点の形成

### <整備の問題点>

これまでの駅周辺地区整備では、単発的な拠点開発や魅力のない高架下利用により、人々の回遊による「賑わい」が広がりにくい状況にある。



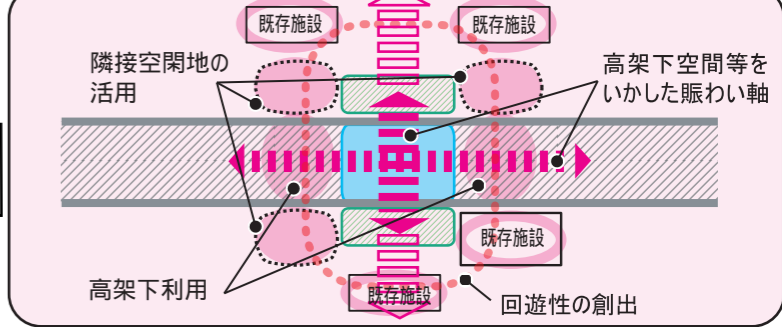
### <方針>

高架下と駅広に隣接する用地を活用し、駅周辺での賑わいを広げるため、各空間特性に適した拠点機能を相互に地上レベルの回遊軸に沿って関連づけながら整備していく。

### <期待される効果>

商業・観光等の都市機能が強化され、駅周辺地区の拠点性が高まる。  
まちとしての回遊性と滞留拠点としての魅力が向上する。

### <富山駅周辺地区における基本方向>



### <整備イメージ>

- 高架下空間には、駅利用者を対象とした商業機能を導入するが、観光拠点としての整備や、近隣居住者の利便も考慮した店舗の導入も想定（駅下市場等）
- 駅周辺では、地上レベルの回遊軸に沿って、連続的に<賑わい>を創出するような都市機能の導入方向を基本とする。（、'）



べっふ駅市場 (別府駅)



駅の保育所 (北千住駅)



行政サービスコーナー



金沢百番街 (金沢駅)



サンストリート (亀戸)



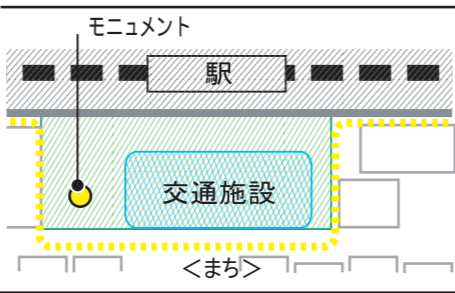
'サンストリート (亀戸)



方針 6 . 公共空間等のハード整備の工夫による「賑わい」創出のしかけづくり

<整備の問題点>

これまでの整備では広場や街路などの公共空間が、小規模で、様々な利用を想定して整備されていないため、多目的な利用に対応できず、モニュメント等の環境施設にとどまっている。



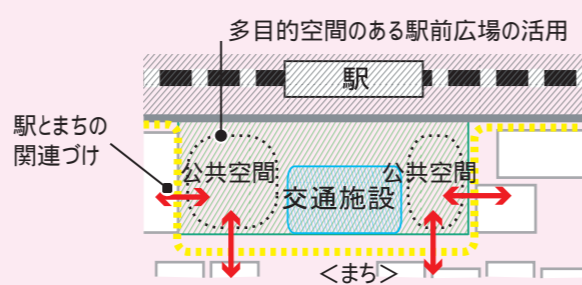
<方針>

公共空間等を様々な利用シーンに応じて多目的に活用するため、広場の配置や整備形態、空間装置などハード面での工夫をしていく。

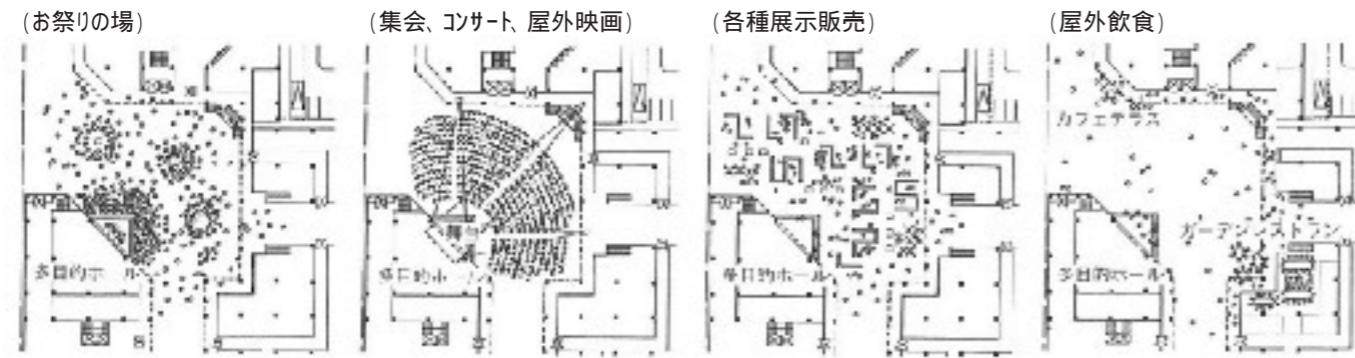
<期待される効果>

ソフトな工夫とあわせ、様々な活用による賑わいの創出が期待できる。  
夜間利用や冬季利用などへの対応を図ることができる。

<富山駅周辺地区における基本方向>



<整備イメージ> ・利用目的に応じて空間構成を変化させ、時間帯別、期間別の多様な利用が可能となる工夫例) 移動式植栽、積雪時には膜構造の大屋根をかけたり、屋台村やイベントが開催できる装置を内蔵した空間整備 「屋外舞台」とも言うような空間( )  
・公共空間を円滑に利用して、賑わいを演出する仕掛けの整備( , )



多目的広場の利用想定(花巻(計画検討のみ))



サスペンション膜構造(ウィーン市内)

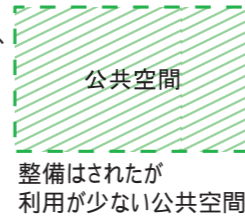


開閉式シェルター(高知市)

方針 7 . 公共空間等を活用した「賑わい」づくりのソフト方策

<整備の問題点>

これまでの公共空間は、多目的広場などが整備されても、公共空間を活用するソフト方策が不足していたため、いかされていない公共空間が現出しがちである。



<富山の現状>



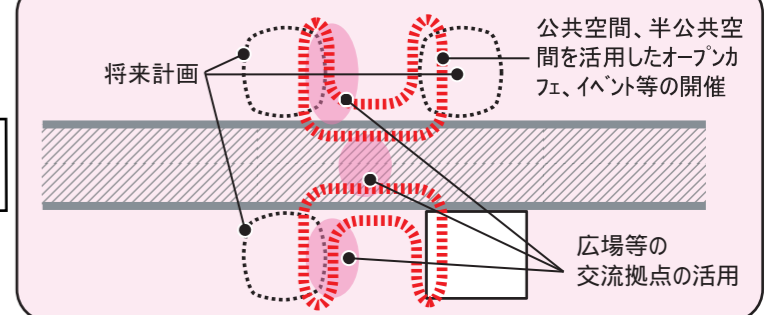
<方針>

地元市民や企業の参加を得ながら、富山の特性をいかした独自の活用メニューを工夫、検討し、公共空間の活用による年間を通じての賑わいづくりを推進していく。

<期待される効果>

活用事業による賑わいの創出  
地元市民団体等の参加による活性化  
駅周辺のまちづくりや、まちなみづくりへの寄与

<富山駅周辺地区における基本方向>



<整備イメージ> ・広場機能の一部は、オープンカフェ、イベント等多様に活用し、賑わいを創出  
・駅広の賑わいを実現する占用のルール化、弾力化( ~ )



うわじま牛鬼まつり



鶴見オープンカフェ



AKIBAX in 秋葉原(秋葉原駅前広場)



鶴見オープンカフェ(市民参加イベント)



つくばセンター広場



但馬・理想の都の祭典



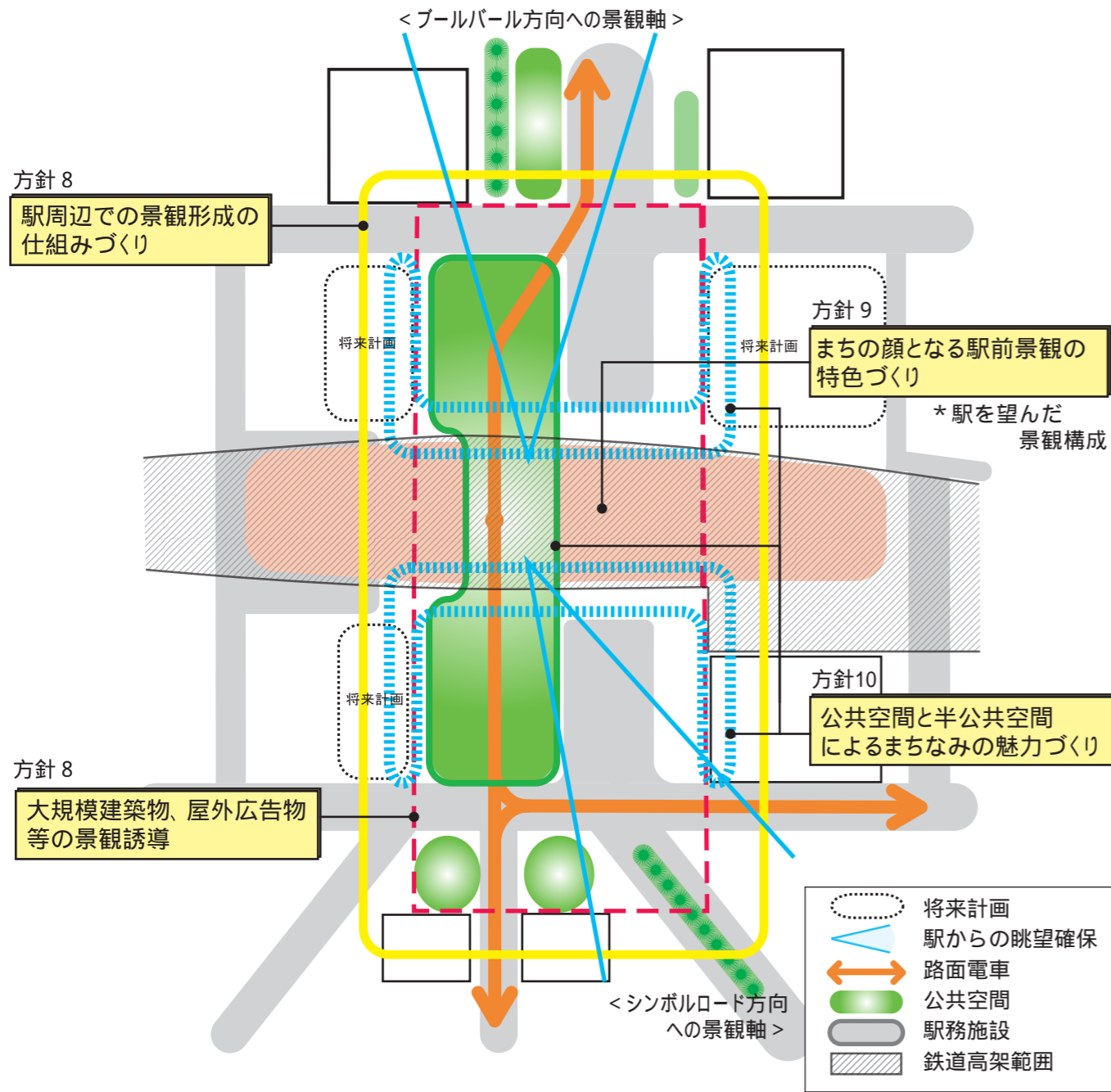
### コンセプト3：「美しさ」を備えた<まちなみ>づくり

シンボルロードとブルバールが高架下で結ばれてできる、新しい都市軸を中心に、公共、民間のまちづくりの主体が協働してつくる富山らしさのあるまちなみ。

駅前のオープンスペースを中心に、立山や南北市街地への眺望を確保し、周辺の建物の高さや壁面などをルール化し、緑や水を生かした公共空間を整備することにより「美しさ」を備えた<まちなみ>を目指す。

#### <コンセプト3の展開イメージ>

駅周辺の一体的な景観形成を図るべき地区において、関係団体や地元参加による仕組みづくりを、幅広い市民の支援を得つつ確立し、合わせて基本的ルール具体化や、先導事業となるまちなみづくりを進めていく。



### 方針8 . 駅周辺での景観形成の仕組みづくり

#### <整備の問題点>

これまでの駅前は、交通施設に占拠され、雑然とした駅前景観となりがちで、周辺地区も大規模な駅ビルや無計画な駅周辺再開発の進行による景観の混乱が見られる。

#### <富山の現状>



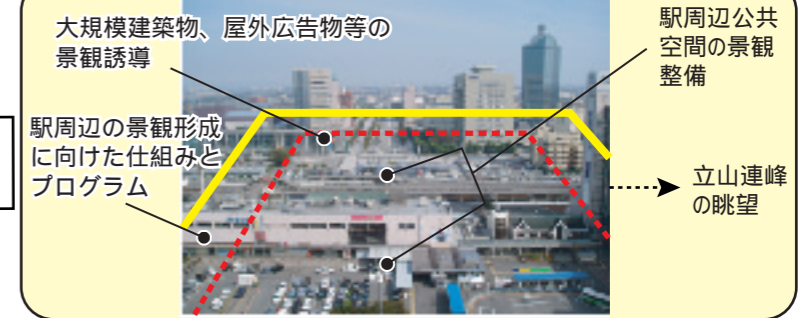
#### <方針>

駅・駅舎、駅前広場だけでなく、周辺建築物を含めた魅力ある広場空間づくりを行うため、市民総意の憲章やルールなど<まちなみ>づくりの実現に向けた仕組みの立上げを図っていく。駅前地区においては特に大規模建築物、屋外広告物の景観誘導に力点を置く。

#### <期待される効果>

- <まちなみ>づくりの運動を通じた市民参加によるまちづくりの拡大
- ルールの確立による駅周辺の景観向上
- <まちなみ>づくりによる県都の玄関口としての魅力とイメージの向上

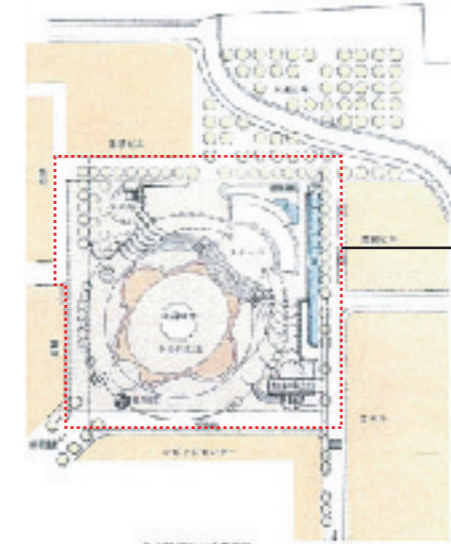
#### <富山駅周辺地区における基本方向>



#### <整備イメージ>

・建築物は、既存の景観にマッチした美しい都市景観となるよう大規模建築物の壁面線や高さなどに加え、屋外広告物についても誘導( , ' , , )

JR日立駅



日立新都市広場



'日立新都市広場



三軒茶屋



つくばセンター広場



方針9. まちの顔となる駅前景観の特色づくり

**<整備の問題点>**  
 重要な景観要素となる駅舎については、地方中心都市など一定の規模を持つ駅ほど巨大な駅ビルによって、都市景観の阻害要素になっている場合が多い。また、駅前空間も特色のない景観となりがちである。

**<富山の現状>**  
 富山駅現況

**<方針>**  
 駅周辺の景観の中心要素として、特徴ある駅舎空間を創出しながら、高架下からの眺望を確保しつつ、駅前広場のボリューム等とのバランスに配慮し、富山の特色をいかした駅前景観を創出する。

**<期待される効果>**  
 県都の玄関口としてのイメージアップ  
 まちなみとの調和による駅前景観の魅力向上

**<富山駅周辺地区における基本方向>**  
 南北空間の連続性を阻害しないデザインの駅舎  
 富山市の玄関口としての景観形成

- <整備イメージ>**
- ・富山の豊かな自然景観を意識した豊かな緑、富山の特色であるガラス、アルミを活用した近代的で美しいデザインの追及( )
  - ・まちなみの中でいきている駅舎景観の創出( )



赤湯駅



高松駅



エルフィンパーク(橋上駅)



二条駅



稲沢駅



稲沢駅(夜景)

方針10. 公共空間と半公共空間によるまちなみの魅力づくり

**<整備の問題点>**  
 これまでの駅広や高架下空間には、緑や水やアメニティ空間が少なく、民地との間に雨・風・雪をしのぐ半公共空間を確保する工夫も少ない。

**<方針>**  
 高架下の自由通路と、南北に設置される駅前広場とを結ぶ公共空間をまちなみの中心軸としてデザインし、その両側の街路や半公共空間の形態を景観の点からも工夫し、富山らしいまちなみ形成の先導的役割を果たす。

**<期待される効果>**  
 公共空間のデザイン高質化によるイメージづくり  
 歩いてみたい、休んでみたいまちなみによる賑わいづくり

**<富山駅周辺地区における基本方向>**  
 美しい公共空間の整備  
 アトリウムの空間の導入検討  
 雁木型等セミパブリックな空間の導入検討(特徴的な生活景観)  
 高架下にアメニティのある空間を創出  
 緑等のアメニティ景観軸

**<整備イメージ>**  
 ・駅前広場と隣接建物との間には、雁木型やアトリウム型など様々なかたちでアメニティを高め、魅力づくりにより特徴あるまちなみを実現( )  
 ・自由通路から駅前広場にかけて、緑等のアメニティ要素を導入し、景観軸を創出( )



雁木方式の空間(静岡)



けやき広場(さいたま新都心駅)



半外部空間的な公開空地(スカイオアシス栄 名古屋市)



アトリウム型の公開空地(アッシュ 旭川市)